

保健体育科

川口 寿恵

廣瀬 尋理

共同研究者 横山 剛士（金沢大学）

1. はじめに

今年度、本校は「新たな社会を見据えた探究的な活動に関する考察—新設教科『創造デザイン科』の提言及び各教科等との効果的な関わりを目指して—」の研究主題のもと研究を進めている。創造デザイン科とは本校が令和3年度より文部科学省から研究開発学校の指定を受け、設置した科目で、総合的な学習の時間を創造性の育成に特化したものである。今年度はその創造デザイン科と保健体育科がどのように関わるができるか考えていく。

まずは、中学校の保健体育科と総合的な学習の時間のそれぞれの目標の比較をしたい。保健体育科の目標¹⁾は「体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。」である。総合的な学習の時間の目標²⁾は「探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。」である。保健体育科の豊かなスポーツライフの実現を目指すことと、総合的な学習の時間の自己の生き方を考えていくことを目指すことは広義に捉えると同様なものを目指しているといえる。またそのゴールに向かっていくプロセスとして課題解決を行うことも両方の目標から読み取れる。

また、柴山³⁾は高等学校学習指導要領保健体育編の教科の目標で設定されている「運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う」は現代の創造性教育を表しており、そしてこの目標は小学校と中学校の学習指導要領でも同様の表現がなされており、すなわち学校教育における体育科、保健体育科では創造性教育につながる授業の実践が求められていると述べている。このことは創造性の育成に特化した創造デザイン科と保健体育科が大きく関わっていると言える。

また、吉永⁴⁾は保健体育科の場合、ボール運動での「チームの特徴に応じた作戦を立てる学習」や表現運動での「題材に適した動きを創作する学習」など、身につけた力を活用する学習と自ら課題を見つけて課題解決する探究的な学習が統合的に行われることが多いと述べており、本校でも上記の学習活動を中心に探究的な学習を行い、保健体育科の探究的な学習と創造デザイン科の効果的な関わりを考えていきたい。

2. 探究的な活動（創造デザイン科）と教科等との関わりについて

（1）探究的な活動に生かされると考えられる資質・能力

本校保健体育科として「豊かな生活を営む態度」「課題を発見する力」「合理的な解決に向けて思考し判断する力」が探究的な活動に生かされると考える。それは上述したように、保健体育で豊かなスポーツライフの実現を目指すことと、総合的な学習の時間で自己の生き方を考えていくことを目指すことは広い意味で同様なものを目指しているといえること、またそのゴールに向かっていくプロセスとして課題解決を行うことも両方の目標から読み取れるため、上記の3つの資質・能力

が探究的な活動に生かされると考えた。

(2) 探究的な活動に生かされると考えられる資質・能力を育成するための手立て

「豊かな生活を営む態度」

体育の授業の中で毎時間、自己の課題を設定させグループで共有し、他者により評価されることで、上記の力を育てていきたいと考えている。具体的にはダンスの授業を通して命をキーワードにしながら、「過去」「現在」までを分析させた。今年度はそれを踏まえ「未来」の自分を見据えて、将来の生活を健康で活力に満ちた明るく豊かなものにするために意図して、多様な意見や考えを持つ生徒同士のグループを設定する。その中で、合意形成をさせながら情緒面の知的な発達を促し、論理的思考を育むとともに、生涯を通じて運動の楽しさや喜びを味わえるようにする。

「課題を発見する力」「合理的な解決に向けて思考し判断する力」

球技の授業の中で作戦を立てたり話し合ったりする際に上記の力を育てていきたいと考えている。具体的にはバスケットボールの試合で行われるシュートなどを数値化し、どこで誰がシュートをどれくらいの確率で打っているか、相手のチームはどのシュートが多いかなどを数値にすることで、コートの中で行われている複雑な現象が見えるようにしたい。そのような手立てをすることで、課題を発見し、それに対してどのように解決していくかを支援したい。昨年度までも同様な取り組みを本校の体育科で行ってきたが、より探究的な活動を意識した授業作りを心がけたいと考えている。

3. 参考文献

- 1) 文部科学省：中学校学習指導要領（平成 29 年告示）解説保健体育編，東山書房，p24（2018）
- 2) 文部科学省：中学校学習指導要領（平成 29 年告示）解説総合的な学習の時間編，東山書房，p8（2018）
- 3) 柴山 慧：創造性教育としての体育授業を構想する 体育科教育, p51（2021）
- 4) 吉永 武史：体育科教育学入門，p123（2002）

3 年単元名「ダンス（創作ダンス）」 単元計画（12 時間）

次	時	学習内容・ねらい（■） 主な活動等（丸数字）	評価規準（○）3 観点【 】指導上の留意点（・）
1	1	■今までの自分をみつめる。 ① 「過去」～「現在」まで振り返る。	○学習に積極的に参加しようとしている。【態】
	2	■未来の自分を見つめる。 ①未来のなりたい自分を想像し言語化する。	○未来の自分の心情について書き出してる。【知】
	3	■14 歳の心情を共有する。 ①未来のなりたい自分をグループで共有する。	○未来の自分の心情についてグループ内で共有している。【思】
2	4 ～ 6	■未来のなりたい自分を表現する。 ①自分たちの想いを動きに置き換える。 ②はじめ・なか・おわりのひと流れの動きを考える。	○表したい「心情」にふさわしいイメージや特徴を捉えた表現の仕方を見付けている【思】 創作などについての話し合いに積極的に参加しようとしている。【態】
	7 ～ 8	■ダンスに合わせた音と背景を考える。 ①ダンスの動きに合わせた BGM と背景を考える。	○ダンスと音が合っているかグループ内で話し合い課題を評価し合う。【思】
	9	■ダンスと音と背景を合わせる。 ①心情に合わせた BGM と背景になっているか確認し合う。	
3	10 ～ 11	■ダンスの発表会と評価をする。 ①ダンスの発表をする。 ②お互いにダンスの表現について評価し合い、伝え合う。	○自分の心情を体と音で表現することができる。【知】 ○「動きをみる観点」に基づき、理由を添えてまとめ、仲間に伝えている。【思】
	12	■発表会の振り返りをする。 ①グループでテーマに合ったダンスを伝えることができたか振り返る。	○創作ダンス振り返り、今後の生活に生かそうとしている。【態】

次	時	学習内容・ねらい（■）主な活動等（丸数字）	評価規準（○）3 観点【 】指導上の留意点（・）
1	1	■ 3 x 3 の学習の仕方を確認する。 ①授業の注意事項や安全面の確認をする。 ②既習事項（シュート、ハンドリング）の確認をする。	○学習に積極的に取り組もうとしている。【態】
	2	■ 3 x 3 の試合をする。 ①ルールの確認をする。 ②試しのゲームをする。	○試合の行い方やルールを理解している。【知】
	3	■空間を作り，走りこむ動きをする。 ①自チームで空間を作る動きの確認をする。 ②自チームで空間に走りこむ動きの確認をする。	○ゴール前への侵入のための空間作りや動きができる。【知】
	4	■試合を通じて，ルールや審判法を確認する。 ①ルールと審判法の確認をする。 ②クラス内の試合を行う。	○試合のルールや審判法を理解している。【知】
	5	■自チームのゲーム分析をして，自チームの特徴を知る。 ①試合を行い，自チームのシュートエリア別確率を確認し，振り返りをする。	○話し合いの場面で合意を形成するために適切な関わり方を見付けている。【思】
	6 7	■自チームの特徴を意識した攻撃をする。 ①クラス内のリーグ戦を行う。	○試合の中で安定したボール操作ができる。【知】
	8	■試合を分析し，作戦を立てゲームに生かす。 ①試合後に自チームのシュートを確認し，その後，相手チームのシュートを確認し作戦を考える。 ②再度同じチームと試合を行う。 ③振り返りをする。	・それぞれの役割が明確になるよう支援する。 ○自己チームや相手チームの特徴を踏まえた作戦を選んでいる。【思】
	9 10	■試合データから，考えた作戦で試合をする。 ①全チーム総当たりのリーグ戦を行う。 ②振り返りとまとめをする。	○マナーを守り，フェアプレイを大切にしようとしている。【態】